



波濤を越えて 8月号

平成29年8月1日 発行

安全に登下校できます!ありがとうございました!!

思いやりの会の皆さんが、通学路の見通しの悪い場所のグリーンベルトの撤去を行ってくださいました。伸びてしまった草木が車や歩行者を見えづらくしていましたが、重機を使って撤去をしてくださいました。暑い中での作業ありがとうございました。



夏休みの過ごし方をもう一度!!

夏休みも10日を過ぎました。夏休みは、学校の時間割から解放され、心身ともにのびのびと自主的・自立的な生活を行い、学校では味わうことのできない有意義な体験をするよい機会です。御家庭においては、夏休みの教育的な意義を御理解いただき、楽しい充実した家庭生活を送ることができるよう御指導くださいますようお願いいたします。

さて、新聞報道等にもありますが、各地で水難事故や交通事故が発生しております。つきましては、次のことに十分に注意してくださいますようお願いいたします。

1 安全な生活について考えるチャンス!

(1) 交通規則を守りましょう!

- 信号を守る。 ○ 道路を横断するときは、左右の安全確認を確実にする。
- 道路の横断は横断歩道を渡る。 ○ 車道や駐車場で遊ばないようにする。

(2) 自転車の正しい乗り方を守りましょう!

- 乗車する時は、自転車の安全点検を行い、必ずヘルメットを着用する。
- 交通規則を守った安全な自転車の乗り方をする。(スピードを出しすぎない等。)
- 自転車の2人乗りや子どもだけで校区外までの遠乗りはしない。

(3) 不審者に気をつけましょう! 「いかのおすし」も家族で確認!!

- 知らない人にはどんなことを言われてもついて行かない。
- 不審者に会ったら大きな声で助けを呼ぶ。近くの家へ逃げ込む。
- どこで誰と遊ぶのか、帰宅時間も家の人に言ってから出かける。

(4) 水難事故防止に努めましょう!

- 海水浴場(町内では、一湊、春田浜、栗生の3箇所だけです。)に泳ぎに行くときや遊びに行くときは、必ず保護者と一緒に行く。
- 遊泳禁止区域(町内の川は全て遊泳禁止です。)では、大人が一緒でも泳がない。
- 海、川、池、港など転落の恐れがある危険な場所では遊ばない。
(一人でも、友だちが一緒でも行きません。)



2 基本的な生活習慣を見つめ直すチャンス!

基本的な生活習慣とは、具体的には以下のようなものです。

- ① あいさつ、相手、場に応じた正しい言葉づかいができる。
- ② 時間を守ることができる。(早寝早起き、遅刻をしない、帰宅時刻(午後6時)を守る。)
- ③ 食事をとる(朝・昼・夕食を好き嫌いをせず、マナーを守ってしっかり食べる)。
- ④ 生活の目標や計画を自分自身で立て、それを実行できる。
- ⑤ 身の回りの整理整頓、清掃が自ら進んでできる。
- ⑥ 服装や髪型、身だしなみを正しく整えられる。
- ⑦ 地域の行事やボランティア活動等にすすんで参加し、人の役に立つ行動ができる。
- ⑧ 社会や家庭、学校等のルールを守ることができる。



1学期は、基本的な生活習慣がバランスよく行われていたのに…、2学期になって生活が乱れる子どもがみられます。そのきっかけとなるのが夏休みです。夏休みは、よい意味でも悪い意味でも子どもたちの生活に大きな影響を与えます。学校では、夏休み前に一日の生活の計画を立てさせたり、生活リズムを変えないように注意を促したりしていますが、なんとといっても「この休みをいかにして上手に乗り切るか!」、ここが子どもたちの頑張りどころです。そのためには、保護者の皆さんの声掛けが大事になります。特に、夏休みの気のゆるみから、お金の使い方が荒く金銭面がルーズになったり、言動が相手を不快にするようなものになったり、起床時刻が遅くなったりして、基本的な生活習慣が乱れてしまい、2学期以降立て直すのにかなりの体力と時間を必要としてしまうことのないよう、今こそ見届けと励ましをお願いします。

しかし、考えようによっては、夏休みは家庭においてこれまでの基本的な生活習慣を見直す絶好のチャンスでもあります。小学生の今の時期が、親も子も踏ん張りどころです。今の頑張り、これからの中学、高校生活にも大きく影響してきます。夏休みも、残り一ヶ月足らずとなりましたが、2学期も子どもたちが、元気に顔で登校できるよう御支援をよろしく申し上げます。

3 情報通信機器の使い方の確認を!

子どもがスマホをはじめとする情報通信機器を使うことで起こりうるリスクを知っていますか? 「画面を見過ぎて目が悪くなる」といったことだけではなくありません。最近の調査では、1日に1時間以上情

報通信機器を使っている子どもは、1日の使用時間が長いほど学力検査の正答率が下がるという結果も出ています。その他に、最近多くみられるのはLINEやSNSから生まれるトラブルです。

1 対面でのコミュニケーション能力が身につかなくなる

一番の問題点は、相手の表情や仕草が見えないまま、コミュニケーションしてしまうことです。子どもには、文字で書いてある言葉の意味を、相手を取り違える危険性があるということを理解させなくてはなりません。例えば「バカ」という一言でも、言い方によっては友達同士のおふざけだったり、時には親しみを込めた表現になったりもします。でもネット上で「バカ」と書けば、書いた本人は冗談のつもりであっても、相手はかなりキツイ言葉として受け止めるかもしれません。場合によっては、カッとなることもあるでしょう。話し言葉と、文字にして残る書き言葉は、同じ言葉でも違います。些細なことですが、積もり積もって大きなトラブルに発展してしまうこともあります。

何より小学生は相手との関係を築きながら、様々なことを学ぶべき時期です。軽い意味で言った言葉が、どれほど相手を傷つけたか、相手の表情の変化を見て理解する体験は、心の成長に欠かせない経験です。いろいろな機器を使うことで、相手と対面で関わりながらコミュニケーションを学び、相手の気持ちを想像したり、思いやりの気持ちを学んだりする機会が減ってしまうのは、もったいないことです。

2 親の知らない「つながり」ができる

小学生くらいまでは何となくではあっても、子どもの交友範囲や行動範囲を親が把握できます。親同士で話したり、子どもが友達を誘う電話の内容を耳にしたりしながら、我が子を取り巻く環境を自然と把握できます。「学校での様子はどんな感じか、友達との関係はどうか」を知っておくのは親にとって大切なことです。

しかし、情報通信機器で連絡を取り合うようになると、親には全く見えないところで、次々と新しいつながりが発生します。見知らぬ相手と会う約束をすることもあるかもしれません。子どもの成長と共に親に見えないつながりができるのは自然ですが、無制限に範囲が広がるツールを与えているリスクを念頭に置かなくてはなりません。

3 その投稿大丈夫？

仲間同士の悪ふざけのつもりが、ネットに載せた途端全国に広がり取り返しのつかないことになってしまうトラブルが起こっています。些細なことが子どもの将来を左右することにつながってしまいます。携帯ゲーム、携帯電話やスマートフォンに関わるトラブルを防止するためには、持たせないことが一番ですが…。保護者の方に取り組んでいただきたいことを、3点挙げてみました。

1 知ること～「携帯ゲーム機・携帯電話・スマートフォン」について～

2 決めること～ルールを作りましょう～

3 行うこと～フィルタリングをしましょう・ルールを守らせましょう～

特に、「2 決めること」では、「10の約束」として、守ってほしいことを下に示しました。この中でも、特に注意してほしいことは、次の3つです。

④ 個人情報を書き込まない(写真や動画も)

⑤ ネット上で知り合った人と会ったりしない

⑧ 悪口は書かない

夏休みは、日常の学校生活とは異なり、自由にできる時間が増え、様々な機器の利用時間が増加しがちです。それが、SNSを利用したトラブルやいじめにも繋がる可能性があります。そのため、上記の3つを含めた家庭での約束作りを行うことが大切です。

また、「約束を守れなかったら、1週間、情報通信機器を親に預けます」等、守れなかった時のことにもふれ、家庭での約束について話し合う機会をつくってください。



☆子どもに守らせたい10の約束

- ①携帯電話・スマートフォンを利用して困った場合はすぐに相談する。
- ②時間を決めて利用する。
- ③自分のIDやパスワードを他人に教えないようにする。
- ④不用意に住所や名前、電話番号などの個人情報をインターネット上に公開しない。
- ⑤知らない人からのメッセージに返事したり、ネット上で知り合った人と会ったりしない。
- ⑥不審なサイトには入らない、危険なアプリはダウンロードしない。
- ⑦アプリなどをインストールするときや会員登録をするときは必ず保護者に相談する。
- ⑧人の悪口などを書き込むことは絶対にしない。
- ⑨友だちなどの個人情報を勝手に載せない。
- ⑩普段の生活で許されないことはインターネット上でも許されないことを忘れない。

※「スマホ18」の約束なども参考になります。インターネットで検索してみてください。

家庭でのルール作りは、必ず子どもと話し合い、一つ一つ納得しながら決めることが必要です。その際に、「あなたのことが大切でトラブルから守りたい」ということを十分に伝えることが大切です。



きまりを守って楽しい夏休みを！元気な顔で会いましょう！